MONTHLY
連合埼玉
VOL.311　2018年1月1日

発　行　日本労働組合総連合会埼玉県連合会（連合埼玉）
発行人　佐　藤　道　明
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-5-19（あけぼのビル2F）
TEL048-834-2300（代表）毎月1日発行（購読料は会費に含む）
JTUC

記事内容

☆近藤会長年頭挨拶
☆青年委員会「第29回定期総会」/女性委員会「第29回定期総会」
☆組合役員教育プログラム開講説明会、年間スケジュール
☆「ネット21運動でつながるNPOと労働組合」シンポジウム
☆2018年度ボランティアカード普及・拡大キャンペーン!
☆国際労働財団「海外労組指導者招へい事業」
☆愛のカンパ地域助成/もうすぐ選挙/1月の行動日程
☆あけぼのビル

～近藤会長 年頭挨拶～

次への飛躍に向け、果敢なチャレンジを

近藤嘉会長

新年明けましておめでとうございます。連合埼玉組合員とご家族の皆様には、よいお年を迎えられたことと心よりお慶びを申し上げます。また、日頃の連合埼玉の諸活動に対しますご理解とご協力に感謝申し上げます。

連合埼玉は、「クラシノソコアゲ応援団！RENGOキャンペーン」としてこの二年間、介護離職の防止や長時間労働の是正など、連合の考え方を様々な場面で発信してきました。「働き方改革」では罰則付き時間外労働の上限規制など、連合が従来求めてきた政策が実現されようとしている一方で、高度プロフェッショナル制度の導入など、「働き方改革」が「働かせ方改革」にならない様、引き続きキャンペーンを通じて広く世論に訴えかけながら、すべての働く人のクラシノソコアゲにつなげていきたいと思います。

また、2018春季生活闘争においても「経済の自立的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現」を目指し、すべての働く人の「底上げ・底支え」「格差是正」と「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」の継続的な取り組みと共に「すべての労働者の立場に立った働き方」の実現に全力で取り組んでいきます。

昨年の第48回衆議院議員総選挙では、構成組織・地域協議会の懸命な対応をいただきましたが、直前での予想を超えた急な展開もあり、結果として与党に漁夫の利を与え、自公を利する形となったことは誠に遺憾と言わざるを得ません。私たちは、野党第一党である民進党の分裂により、一強体制がこれまで以上に驕りや緩みによる緊張感のない政治運営とならない様、今後も仲間を増やしチェック機能を強化、役割を果たしていかなくてはなりません。

2019年にはダブル選挙（第19回統一地方選挙・第25回参議院議員選挙）が施行予定であることから、2018年の１年間は組合員とその家族、国民に対する政策制度実現に向けた政治活動の重要性をはじめとする理解活動を継続しながら組織強化をはかり、各構成組織の足元をしっかり固めた上で、政権交代可能な緊張感のある二大政党的体制の構築に向けた確実な一歩としていきたいと思います。

連合埼玉は38構成組織、12地域協議会、720加盟組合が力を合わせ、組合員の皆さんと一体となって、諸課題に果敢にチャレンジしていきたいと思います。本年が、皆さんにとって良き一年になるようご祈念致します。

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

マンスリーは再生紙を使用しています

青年層の想いを広げ安心社会の実現を

青年委員会「第29回定期総会」

11月29日（水）、あけぼのビルにおいて青年委員会「第29回定期総会」を開催した。

冒頭、佐藤委員長は「連合の掲げる『働くことを軸とする安心社会』を実現するためには、より政治を日常・身近にしていかなければならない。そのためにも、より多くの組合員と対話し、より大きな輪を作ることが重要であり、その活動は青年委員会の根本の一つである」と話し、また、本年に開催した連合群馬青年委員会との交流会に触れ、「同じ思いを持つ仲間がいることを知り、喜びと同時に、負けられないという気持ちを抱いた。『仲間の輪』をより大きく広げることが出来るよう、今後の活動に取り組んでいきたい」と意気込みを語った。

総会では2017年度の活動報告、会計報告に続き、2018年度活動方針、予算、役員体制について議案提案があり、それぞれ満場一致のもと可決された。最後に、佐藤委員長の号令のもと、「ガンバロー三唱」にて総会を終了した。

団結ガンバロー

■2018年度役員体制

役　職	氏　名	構成組織名
委員長	佐藤　洋太	UAゼンセン埼玉県支部
副委員長	龍口　隆二	印刷労連
事務局長	川島　貴至	運輸労連埼玉県連
幹　事	岩崎　龍一	自動車総連埼玉地協
	白戸　貴文	電機連合埼玉地協
	塚原　美臣	JAM埼玉
	荒明　総一	JP労組埼玉連絡協議会
	庄司　洋志	自治労埼玉県本部
	安齋　将太	埼玉県電力総連
	杉田　芳彰	情報労連埼玉県協議会
	北川　潤也	JEC連合埼玉地連
	杉本　健太	JR総連埼玉県協
	安達　真明	全国ガス埼玉
	塩原　祥男	政労連埼玉地連

■退任役員

役　職	氏　名	構成組織名
副委員長	黒澤　富央	電機連合埼玉地協
幹　事	磯山　英行	自動車総連埼玉地協
	小川　義人	JAM埼玉
	若狭　進介	JP労組埼玉連絡協議会
	大畑　恭平	埼玉県電力総連
	五十嵐稔博	情報労連埼玉県協議会
	半田　祥吾	JEC連合埼玉地連
	大西　正洋	政労連埼玉地連

切り拓こう!みんなが主役の男女平等参画社会

女性委員会「第29回定期総会」

11月30日（木）、あけぼのビルにおいて女性委員会「第29回定期総会」を開催した。総会では、2017年度活動・会計報告ならびに2018年度活動方針案・予算案・役員選出の全議事が満場一致で承認・可決された。

冒頭、上杉委員長は「女性が活躍する場が少しずつ増えてきてはいるが、職場にはまだまだ男性中心の労働慣行が残っている。これからも女性が働きやすい環境づくりを続けていきたい」と述べた。その後、連合埼玉を代表して近藤会長より、来賓として民進党埼玉県総支部連合会男女共同参画委員長の山本正乃県議会議員より挨拶があった。

総会終了後、エソラ代表 玉岡宏樹氏、エソラ整骨院総括責任者・3Dストレッチトレーナー 岡部雄斗氏を講師に迎え、「正しい姿勢とからだのバランス」をテーマにセミナーを開催した。骨格（からだ）のバランスを保てる正しい姿勢を確認したうえで、自分のからだのゆがみを確認し矯正するための、どこでもできる簡単なストレッチなどを学んだ。自分の利き腕やくせによっても自然にゆがみが生じていることや、そのゆがみを矯正することで血行が改善され、快適に過ごせることを、参加者一堂で楽しく学ぶことができた。

参加者のみなさん

■2018年度役員体制

役　職	氏　名	構成組織名
委員長	上杉　裕子	電機連合埼玉地協
副委員長	新山　元子	運輸労連埼玉県連
事務局長	伏見美千代	UAゼンセン埼玉県支部
幹　事	中里　弘子	自動車総連埼玉地協
	倉持　萌香	電機連合埼玉地協
	牧　　純子	JAM埼玉
	並木美千代	JP労組埼玉連絡協議会
	鈴木恵美子	埼玉県電力総連
	粂川　恵子	情報労連埼玉県協議会
	石川智恵美	埼交運
	笠原　　梢	国公総連埼玉
	滝沢千恵美	埼玉教組
	高坂　優衣	政労連埼玉地連
	藤野　直美	中央労働金庫労働組合埼玉統括支部
	細川千恵子	ユニオン連合埼玉

■退任役員

役　職	氏　名	構成組織名
幹　事	田島由紀子	自動車総連埼玉地協
	木村あずさ	電機連合埼玉地協
	福田　祐子	JAM埼玉
	櫻井　克子	自治労埼玉県本部
	半田　純子	JP労組埼玉連絡協議会
	秦　　敦子	埼玉県電力総連
	古賀　初代	印刷労連
	石井　恵美	国公総連埼玉
	新井　京子	政労連埼玉地連

共に学び、共に成長する

組合役員教育プログラム開講説明会

12月1日（金）ときわ会館にて、構成組織・加盟組合の教育担当者等36名の参加のもと、組合役員教育プログラム「2018年度開講説明会」を開催した。

冒頭、主催者を代表し近藤会長より挨拶があり、続いて、佐藤事務局長より概要説明、小林副事務局長からは各講座のスケジュール等の説明をおこなった。

その後、「組合役員教育プログラムを受講して」をテーマとし、コーディネータとしてj.union㈱取締役の大川守氏、プログラム修了者の佐々木健志朗さん（自動車総連）、石塚千晴さん（電力総連）、藤井久恵さん（政労連）の3名をパネリストとして、パネルディスカッションをおこなった。

パネリストからは、講座を受講して、「自分の何が不足しているかが分かり、物事を進める上で、そのことを気に掛けるようになり仕事がスムーズにいくようになった」「自分の悩みに対するヒントが得られた」「職場の中で会話が増えた」など自身の体験も交えた意見が出され、活発な議論となった。

説明会の様子

パネルディスカッションの様子

最後に佐藤事務局長より「組合役員教育プログラム全20講座は、連続で受講することも、スポットで１講座でも受講できるので、多くの組合役員の皆さんに受講して欲しい」との挨拶があり、説明会を終了した。

2018年度についても、基礎講座を1月下旬より、実務講座を5月中旬より、スキルアップを7月上旬より開講していく。

組合役員教育プログラム年間スケジュール

2018年度は下記のスケジュールにて開講します。基礎講座は募集中となっており、実務講座については3月下旬に、スキルアップは5月下旬より受講者の募集をおこないます。すべての講座は参加費無料となっていますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

■基礎講座　時間10:00～17:00

開催日・場所	講座内容
1/31(水) あけぼのビル3F	①労働組合の意義と機能
	②組合役員の立場と役割
2/3(土) ときわ会館	③組合役員のためのコミュニケーション力開発①（リスニング）
	④会議の進め方①（職場討議・集会の進め方）
2/14(水) あけぼのビル5F	⑤これだけは知っておきたい労働法（労働法初級）
	⑥健全な労使関係と働き方のルール（労働法中級）
2/17(土) あけぼのビル5F	⑦労働組合の社会的役割～労働運動の起源
	⑧埼玉県の労働福祉運動の役割

■実務講座　場所：あけぼのビル3F　時間：14:00～18:00

開催日	講座内容
5/12(土)	⑨三六協定の実務（時間外労働と休日労働）
5/16(水)	⑩団体交渉・労使協議の進め方
5/19(土)	⑪労働組合が取るべき経営対策活動とは？
5/23(水)	⑫メンタルヘルスと職場での取り組み方
5/26(土)	⑬キャリア開発（より良い働き方を考える）
5/30(水)	⑭ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)

■スキルアップ　場所：あけぼのビル3F

開催日・時間	講座内容
7/4(水) 14:00～18:00	⑮プレゼンテーション（納得性を高める伝え方）
7/7(土) 10:00～17:00	⑯組合広報誌の作り方
7/11(水) 14:00～18:00	⑰組合役員のためのコミュニケーション力開発②(アサーション)
7/14(土) 10:00～17:00	⑱組合役員のためのコミュニケーション力開発③(コーチング)
7/21(土) 10:00～17:00	⑲会議の進め方②（ユニオンファシリテーション）
7/25(水) 14:00～18:00	⑳イベント企画の立て方とその運営

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

『異文化交流』から『協働』のステージへ

～「ネット21運動でつながるNPOと労働組合」シンポジウム～

12月9日（土）ときわ会館にて、ネットワークSAITAMA21運動（ネット21運動）主催のシンポジウムを、構成組織・地域協議会代表者、推薦議員、NPO等より110名の参加のもと開催した。

近藤会長

冒頭、ネット21運動運営団体を代表し、連合埼玉近藤会長より「組合員や勤労者の生活不安に対する課題解決は、個別労使だけでは不可能である。地域社会に関する課題解決のためには、労働組合が積極的に地域社会に参画し、公助・共助・自助をベースとした『共生の地域社会づくり』に取り組むことが極めて重要であり、ベクトルを合わせて進めていく必要がある。連合埼玉は、18万組合員というスケールメリットを活かし、労働金庫や全労済など福祉事業団体との連携、また多くのNPOや市民団体との連携をはかり、協働で取り組む社会的運動機能を確立していきたいと思っている。そのためにも、互いに交流を深め、連帯と協働の輪を広げていただきたい」と挨拶があった。

佐藤事務局長

次に、ネット21運動運営委員会佐藤事務局長より「10年前に開催したシンポジウムは、労組とNPOがお互いを理解するきっかけとなった。その後ネット21運動をつうじて協働することができるようになり、多くの活動が生まれた」と、これまでの運動について説明があった。

その後、「労働組合とNPOとの協働」事例を2団体より報告をうけ、早稲田大学社会科学総合学術院教授の篠田徹氏より「パートナーとしての労組とNPO」と題し、講演を頂いた。

第2部では「NPOと労働組合との出会いのティーパーティー」を開催し、参加者が身近な地域で活動するNPOを知り、お互いに理解を深めるきっかけづくりとなった。

参加者からは「労組について理解ができた」「NPOの支援について検討していく」「新しい人（労組）と話せてよかった」等の声が寄せられた。

グループワーク

事例報告「労働組合とNPOとの協働」要旨

【NPO法人障害者の職場参加をすすめる会 ×越谷市職員組合】

越谷市職員組合は、1977年にNPOが発足される以前から、身近な応援団として、地域で障がいのある人もない人も共に生きていくための活動をおこなっているNPOとの連携をとっており、NPO主催のイベントがある場合には、介助等として参加している。またNPOに対する助言もおこなっている。

【NPO法人北本福祉の会かがやきの郷 ×スバル労働組合】

自動車総連は毎年NPOへ物品寄贈を実施しており、スバル労組としても、連合埼玉推薦議員の紹介もあり、北本福祉の会かがやきの郷との連携をはじめた。現在はイベント参加などをおこなっている。労働組合として、この活動をつうじ「働くことの喜び」や「地元の方が困っている人を支えている」ことを感じることができており、今後もしっかり支援していきたいと考えている。

左：越谷市職員組合 森田譲二氏
右：障害者の職場参加をすすめる会 山下浩志氏

左：スバル労組 菅原秀夫氏
右：かがやきの郷 甲斐田よし子氏

篠田 徹 氏の講演要旨「パートナーとしての労組とNPO」

早稲田大学社会科学総合学術院
篠田徹教授

近年、連合は地域での活動を重視している。全国の地方連合会のなかで、連合埼玉は非常に地域での活動が進んでいる。NPOと労組がコラボするということは、以前は考えられなかったが、埼玉では昔から多くのNPOと連携しており、この活動がさらに進めば、大きな効果を生む可能性がある。

あまり知られていないが、2つの震災の際に、連合はボランティア関連の法整備に携わった。また組合員には、ボランティアをしたい人が潜在的に多くいる。しかし労組にはNPOのような多岐にわたるカテゴリーがないためボランティアを紹介することができない。お互いを理解するためにも、「一緒は楽しい。おすそ分けは嬉しい」の気持ちで連携をとれば、労組とNPOがより強固な関係になると思う。

ネットワークSAITAMA21運動（ネット21運動）

2018年度ボランティアカード　普及・拡大キャンペーン！

ネットワークSAITAMA21運動って？

ネット21運動は、連合埼玉と埼玉労福協が推進母体となり、勤労者の暮らしを生涯にわたってサポートする運動や子育てや介護をはじめ、地域社会で解決しなければならない問題に取り組むため、労働運動や労働者福祉運動と、埼玉県内の様々なNPOや市民団体との連携をつうじ、働く者と地域の市民が出会い、理解しあって、勤労者の生活と暮らしを支え合う「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

具体的な活動は？

ネット21運動では、「共生の地域社会づくりへの積極的な参画」、「勤労者の生涯にわたる暮らしのサポート活動」、「市民社会との連帯と協働」の３つを活動の基本として、以下のプログラムを重点に、「ネット21運動」の普及とNPO等との連携交流に取り組んでいます。また、「特別事業」として、震災支援活動もおこなっております。

１．ライフサポート・プログラム

１）出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催

２）未組織、生活困窮者等への支援

２．ボランティアサポート・プログラム

１）「シニア人財バンク」の活動（飛び出せシニアセミナー）

２）自然環境ボランティアの促進、自然環境体験（尾瀬、ときがわ）

３）子育て支援ボランティア事業

３．NPOサポート・プログラム

１）「NPO応援・物品助成プログラム」、「NPO応援・小額（物品等）助成プログラム」の実施

２）飛び出せシニアセミナーの開催

ボランティアカードとは？

ボランティアカードは、「ネット21運動」への協力の証として発行されるものです。ご協力をいただいたカード協力金（500円）の内、契約料やカード代などを差し引いた額が「ふれあいコミュニティ・ファンド」に寄付され、各種セミナーやNPOへの支援など、「ネット21運動」の様々な事業に活用されています。

なお、カードはＡタイプ（約200円がファンドへ寄付）とＢタイプ（約400円がファンドへ寄付）との2種類があり、Ａタイプのみリソルのサービスが付いています。また、Ａ・Ｂ共通の埼玉県内を中心としたサービスもあります。詳細はホームページ（https://net-saitama21.jp）でご確認ください。

普及・定着のための説明会を開催させてください!!

構成組織、加盟組合、地域協議会にて説明会を開催させてください。皆様の会議等でお時間を頂ければ、事務局から派遣し、説明をさせて頂きます。ぜひ、お声掛けください！

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

開発途上国労組役員が建設的労使関係を学ぶ

～国際労働財団「海外労組指導者招へい事業」～

開発途上国といわれる国々において、グローバル化の進展等に伴い多くの企業が急成長を遂げる一方、その成果が労働者に公正に配分されていない等から、賃金や労働環境をめぐる労使紛争が増加しており、日本の海外進出企業もその影響を受けている。開発途上国における自由で民主的な労働運動の発展と健全な労使関係の構築をつうじ、当該国の社会・経済の発展に寄与し、ひいては、日本から海外に進出している企業等の建設的労使関係の定着・発展と雇用安定を目的に、公益財団法人国際労働財団（JILAF）は、開発途上国の労働組合役員を日本に招き、日本での労使関係を学んでもらう活動をおこなっている。

今回、JILAFの要請にもとづき、12月3日（日）～16日（土）の日程で来日しているITUC-BC（バングラデシュ）、CMTU（モンゴル）の合同団の受け入れを、連合埼玉として12日（火）～13日（水）の2日間おこなった。

12日は、埼玉職業能力開発促進センター（ポリテクセンター埼玉）とハローワーク浦和サテライトの視察ならびに意見交換をおこない、夕方からはあけぼのビルにて、会長・副会長も参加し、連合埼玉の取り組み説明と意見交換をおこなった。13日には、JR東労組の協力をいただいた大宮総合車両センター視察、午後は川越市内視察をおこなった。

【ポリテクセンター埼玉】

離職者、在職者訓練をおこなっている職業訓練校の視察をおこない、その機能が果たす役割などについて学んでもらったうえで、意見交換をおこなった。意見交換では、「失業者が研修を受けるときの財源について」「外国からの技術交流はおこなえるか」「労働組合とポリテクセンターとの協力関係について」等の質問があった。

【ハローワーク浦和・就業支援サテライト】

埼玉県の労働行政における職業紹介制度の実態や雇用保険制度の運用などについて説明を受け、その後視察をおこなった。視察後に参加者から「外国人もハローワークで支援してもらえるか」「来所者の数に比べ就職する人数が少ないように思えるがその要因はなにか」等の意見があった。

【連合埼玉との意見交換】

冒頭、近藤会長より「埼玉へお越しいただき感謝申し上げる。この2週間の知識・経験を自国に持って帰っていただき、ぜひとも役立ててほしい」と歓迎の挨拶と連合埼玉の概要について説明した。その後、佐藤事務局長より地域でおこなっている労働運動について説明をおこない、質疑応答となった。

挨拶をする近藤会長

質問では「連合埼玉の組合員が減少している要因はなにか」「埼玉県内の若年層に対するアプローチをどうしているのか」「（参加している）組合役員は男性だけであるが、女性役員を育成するためのアプローチはどうしているか」「連合埼玉と産別で意見の不一致があり協力ができないような事はないのか」「産別が統合することの好事例はあるか」等の幅広い質問が出された。

意見交換会の様子

参加者のみなさん

【JR東日本大宮総合車輌センター】

日本の鉄道会社の中で営業路線が最長であり、東京圏への通勤通学の日常的輸送を担っているJR東日本にて、働く現場の視察をとおし、開発途上国における今後の職場環境の改善に役立ててもらうことを目的とし、JR東日本の整備現場の視察をおこなった。参加者からは「センターとしてどのような地域貢献をおこなっているか」「労使で取り組んでいる課題は」「技術を持った人を採用することと新卒を採用し企業内で養成することのどちらが多いか」と質問があった。

「連合・愛のカンパ」地域助成・支援団体募集中!

「連合・愛のカンパ」では、社会貢献活動に取り組むNPO・NGO団体の支援活動をおこなっています。連合組合員およびその家族、あるいは退職者が、積極的に運営に参加している団体が行う事業・プログラム、または地方連合会が日常的な活動で連携している団体が行う事業・プログラムを対象とし、助成金を寄贈していますので、お知り合いのNPO団体がありましたら、ぜひ、ご紹介ください。

【応募期間】

2018年3月31日(土)まで

※応募には地方連合会の推薦が必要となりますので、まずは、連合埼玉・連帯活動局までお問い合わせください。
詳細は、連合ホームページをご覧ください。
(https://www.jtuc-rengo.or.jp)

【対象となる社会貢献活動】

1. 大規模災害などの救援・支援活動
2. 戦争や紛争による難民救済などの活動
3. 人権救済活動
4. 地球環境保全活動
5. ハンディキャップをもった人たちの活動
6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動
7. 医療や福祉などの活動
8. 地域コミュニティー活動
9. 生活困窮者自立支援活動

連合・愛のカンパとは?

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けた社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPO団体などの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

もうすぐ選挙

深谷市長選挙
▶小島 進(こじま すすむ) 57才(無・現2・連合埼玉推薦3回目)
告示日:2018年1月21日(日)　投票日:2018年1月28日(日)

本庄市議会議員選挙
▶町田 美津子(まちだ みつこ) 67才(無・現5・連合埼玉推薦5回目)
告示日:2018年1月21日(日)　投票日:2018年1月28日(日)

川口市長選挙
▶奥ノ木 信夫(おくのき のぶお) 66才(無・現1・連合埼玉推薦初)
告示日:2018年1月28日(日)　投票日:2018年2月4日(日)

現在予定される1月の日程表です

1月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	月		
2日	火	～4日まで年末年始休暇	
3日	水		
4日	木		
5日	金		①連合2018新年交歓会(16:00～・ホテルラングウッド) ②埼玉新聞社「新年賀詞交歓会」(17:00～・パレスホテル大宮)
6日	土		部落解放同盟埼玉県連「2018年新春旗びらき」(16:00～・サンルートホテルガーデンパレス)
7日	日		
8日	月		電機連合埼玉地協「2018年新春旗開き」(18:30～・ホテル木暮)
9日	火		
10日	水	①第2回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②新春のつどい(16:00～・ときわ会館)	自治労埼玉県本部「2018旗開き」(18:00～・さいたま共済会館)
11日	木		①埼玉県経営者協会「新年会員懇談会」(13:30～・パレスホテル大宮) ②建設埼玉「2018年新春の集い」(15:00～・ラフレ埼玉) ③交通労協「旗開き」(18:00～・大宮サンパレス)
12日	金		①連合「2018連合白書学習会」(13:30～・連合会館) ②情報労連埼玉県協議会「2018新春の集い」(15:00～17:00・ときわ会館) ③連合「第1回全国最低賃金担当者会議」(15:15～・連合会館) ④東部地域協議会「2018新春のつどい」(18:30～・和風レストラン「むさし」)
13日	土		①北埼玉地域協議会「定期総会」(9:40～・羽生市民プラザ) ②埼玉教組「2018年新春旗開き」(13:20～・さいたま共済会館) ③JP労組埼玉連協「2018旗開き」(17:00～・ときわ会館)
14日	日		
15日	月	第2回官公労部門連絡会(18:30～・連合埼玉会議室)	川口・戸田・蕨地域協議会「新春祝賀会」(18:30～・銀座アスター川口賓館)
16日	火	第1回組織委員会(9:30～12:00・連合埼玉会議室)	退職者連合「新春の集い」(16:00～・連合会館2F)
17日	水	第1回男女平等参画推進委員会(13:30～・連合埼玉会議室)	
18日	木	第1回組合役員教育プログラム運営委員会(16:00～・連合埼玉会議室)	埼玉県私鉄「2018団結旗開き」(18:00～・さいたま共済会館)
19日	金	女性委員会「第1回幹事会」(18:00～・連合埼玉会議室)	秩父地域協議会「第18回定期総会」「2018新春の集い」(18:00～・19:00～・ホテル美やま)
20日	土		川越・西入間地域協議会「第7回定期総会」(14:00～・ラ・ポア・ラクテ)
21日	日		①深谷市長選挙告示日 ②本庄市議会議員選挙告示日
22日	月		熊谷・深谷・寄居地域協議会「第6回地協総会」(18:15～・キングアンバサダーホテル)
23日	火	第1回広報委員会(16:00～・連合埼玉会議室)	比企地域協議会「第2回幹事会」(18:00～・中央労金東松山支店)
24日	水	第1回政策・制度委員会(10:00～・連合埼玉会議室)	
25日	木	埼玉シニア連合「第1回四役会・幹事会」(13:30～・15:00～・連合埼玉会議室)	県央地域協議会「第10回定期総会・旗開き」(18:30～・東武バンケットホール)
26日	金		①社民党埼玉県連「新春のつどい」(18:00～・さいたま共済会館) ②さいたま市地域協議会「第13回定期総会」(18:15～・ときわ会館)
27日	土		
28日	日	春闘パワーアップセミナー(10:00～・あけぼのビル3F)	①連合関東ブロック連絡会「2018女性会議」(13:00～　1/29・千葉県教育会館) ②運輸労連埼玉県連「2018年旗開き」(14:00～・鬼怒川観光ホテル) ③深谷市長選挙投開票日 ④本庄市議会議員選挙投開票日 ⑤川口市長選挙告示日
29日	月		JAM埼玉「2018躍進パーティー」(17:30～・パレスホテル大宮)
30日	火		
31日	水	組合役員教育プログラム基礎①②(10:00～・あけぼのビル3F)	JR総連埼玉県協議会(18:30～・東天紅)

E-mail:rengo-saitama@mlaa.rengo-net.or.jp
URL http://rengo-saitama.jp/

Akebono Building

あけぼのビル

事務局長　佐藤 道明

連合は第76回中央委員会(2017.12.5)において、(1)「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組みの継続、(2)「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」の継続的な取り組み、(3)「すべての労働者の立場にたった働き方」実現への取り組み、を基本的な考え方とする2018春季生活闘争方針を決定した。

方針には次のような記述がある。『わが国における賃金決定メカニズムとしての春季生活闘争の重要性を再認識し、社会に広がりを持った運動としていく必要がある。その基盤となるのは、これまで労使で確認してきた生産性三原則であり、「雇用の維持・拡大」「労使の協力と協議」「成果の公正分配」にもとづいた生産性向上の重要性を、今一度社会的合意としていかなければならない。』

本号では生産性運動について再認識を図りたい。

◆わが国の生産性運動のはじまり

1955年3月に経営者、労働者、および学識経験者の三者構成で「国民経済の生産性の向上を図る」ことを目的とする日本生産性本部が設立された。具体的な運動展開にあたっては、この運動の基本的な考え方である「生産性運動に関する三原則」を設定した。

(1)雇用の維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用を増大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的観点に立って可能な限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

(2)労使の協力と協議

生産性向上のための具体的な方法については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

(3))成果の公正分配

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に分配されるものとする。

この三原則は、当時の時代背景として「わが国経済の自立」と「国民の生活水準の向上」を図るために、産業の生産性を向上させることが急務であったことと、国際労働機構(ILO)のフィラデルフィア宣言(1944年)「団体交渉権の実効的な承認、生産性向上に関する経営と労働の協力、ならびに社会的および経済的措置の準備と適用に関する労働者と使用者の協力を達成するための計画」、1952年の「企業における使用者と労働者との間の協議および協力に関する勧告」などILOの生産性向上問題、労使協議制などに関する決議の精神を強く意識したものとなっている。

また、当時の生産性運動は、「資源、労働、設備を有効かつ科学的に活用して生産コストを引き下げ、それにより市場の拡大、雇用の増大、実質賃金ならびに生活水準の向上を図り、労使および一般消費者の共同の利益を増進させる」ことを目的とするものであった。

◆生産性の定義

生産性の代表的な定義は「生産性とは、生産諸要素の有効利用の度合いである」(ヨーロッパ生産性本部)というものである。有形無形を問わず何かを生産する場合には、機械設備や土地、建物、エネルギー、さらには原材料などが必要となる。また、実際にこれらの設備を操作する労働者も欠くことができない。生産を行うために必要となるこれらのものを生産要素と言うが、生産性とはこのような生産要素を投入することによって得られる産出物(製品・サービスなどの生産物)との相対的な割合のことを言う。

つまり、生産性とは、あるモノをつくるにあたり、生産諸要素がどれだけ効果的に使われたかということであって、それを割合で示したものが生産性ということになる。例えば、最先端の工作機械を導入したとしても、それを操作する人の技術・技能が未熟であったり、操作ミスをしてしまっては、工作機械はうまく作動せず、故障を起こしてしまうこともある。このような場合、生産諸要素の有効利用度が低い、つまり生産性が低いということになる。

◆生産性の種類

生産性は、それぞれの生産要素の視点から捉えることができる。労働の視点からであれば労働の生産性(労働生産性)、資本の視点からであれば資本の生産性(資本生産性)となる。さらに、投入した生産要素すべてに対して産出がどれくらい生み出されたかを示す指標として全要素生産性がある。

こうした生産性の種類の中で最もよく用いられるのが労働の視点からみた生産性、すなわち労働生産性である。労働生産性は「労働投入量1単位当たりの産出量・産出額」として表され、労働者1人当たり、あるいは労働1時間当たりでどれだけ成果を生み出したかを示すものである。「労働生産性が向上する」ということは、同じ労働量でより多くの生産物をつくりだしたか、より少ない労働量でこれまでと同じ量の生産物をつくりだしたかを意味する。

今後加速する「働き方改革」を企業が積極的に受け入れるためには、長時間労働を是正しながらこれまでと同等または同等以上の成果を生み出すこと、すなわち時間当たりの労働生産性を向上させることが重要となってくる。従業員を長時間働かせ、生産を増やすことが生産性向上だと誤った理解をしている経営者がいなくなるよう、2018春季生活闘争において労使で確認してほしい。

2017.12.22